

ID No.	337
研究課題名	インフルエンザウイルス由来・タンパク質と宿主ミトコンドリアとの相互作用解析
研究代表者	小柴 琢己 （九州大学大学院・准教授）
研究組織 受入教員 研究分担者	一戸 猛志 （東京大学医科学研究所・准教授） 吉住 拓馬 （九州大学・大学院生）
研究報告書	
本申請課題に関する重要な知見を得て、下記に記す成果を報告した（謝辞記載有り）。A型インフルエンザウイルスの創り出すウイルスタンパク質PB1-F2は、感染細胞内のミトコンドリアに選択的に局在することを実験的に確認し、ミトコンドリア内に輸送されることを発見した。本研究課題を継続申請することにより、PB1-F2の生理的な役割を明らかに出来ることが期待され、詳細な解析を進めていきたい。	